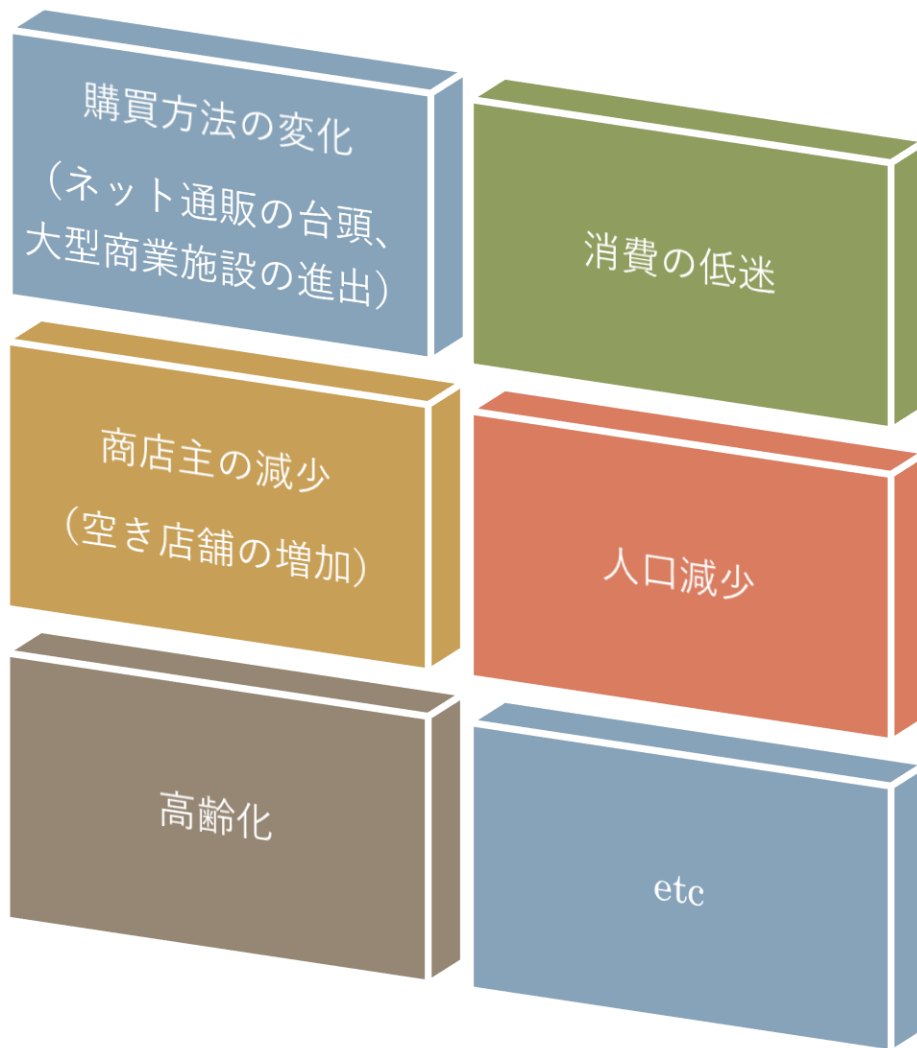


「まち」が変わる、「商店街」を変える

PDCA事業取り組みのすすめハンドブック



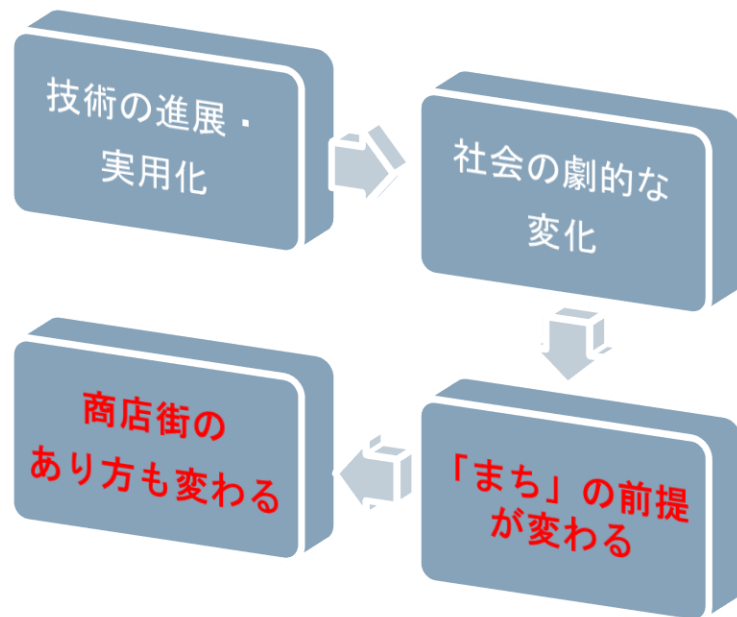
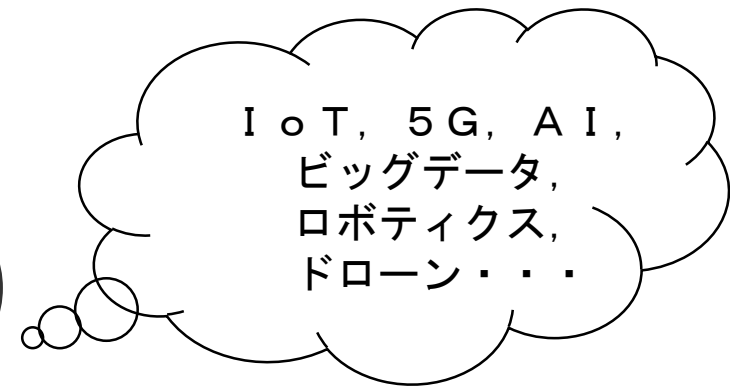
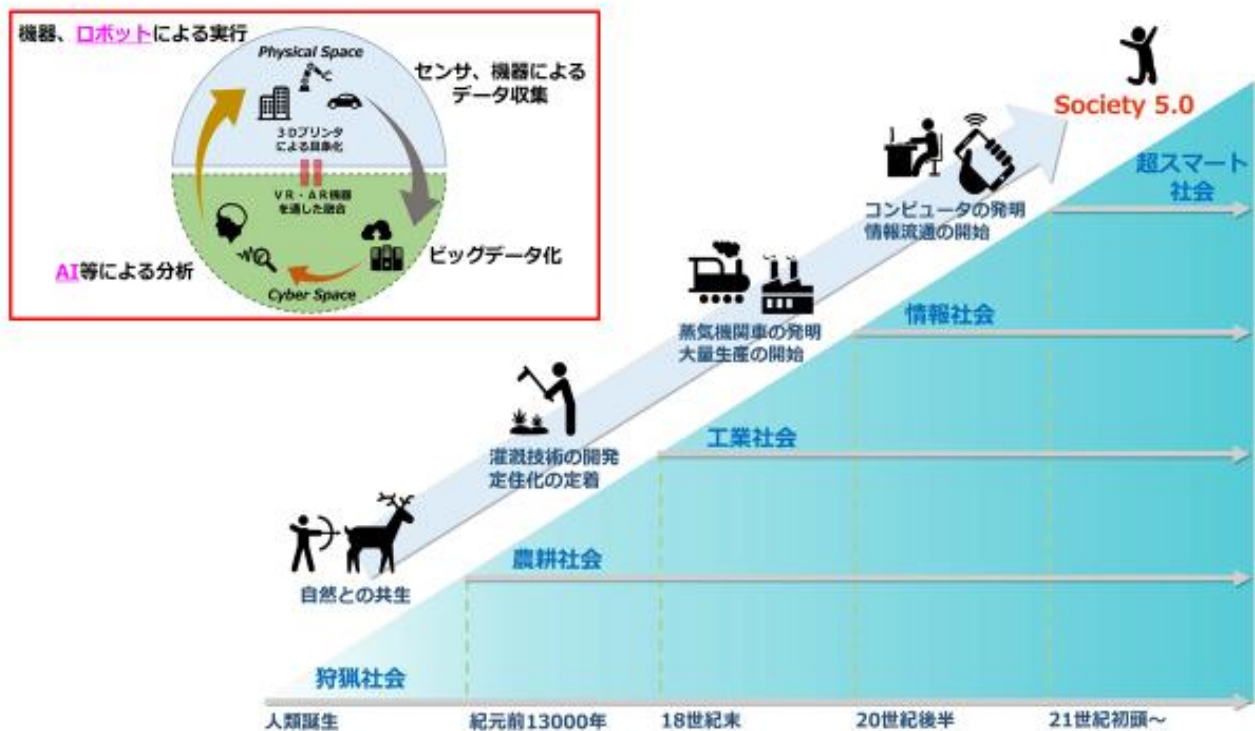
これまでの商店街活動が続けられなくなってきた！



加えて・・・

Society 5.0がすぐそこに!

第5期科学技術基本計画で掲げられたコンセプト「Society 5.0」
～IoT、AI、ロボット、ライフサイエンスが産業・社会構造を劇的に変化させる「大変革時代」～



どうにかしたい・・・でも、どうすれば・・・

- 商店街メンバーだけで打開を図ろうとしていませんか？
- 商店街の活動・イベントを盲目的に行っていないですか？
- その目的や意義は明確ですか？



商店街を中心に**様々な主体を巻き込む**必要があります！



「見える化」を図る必要があります！

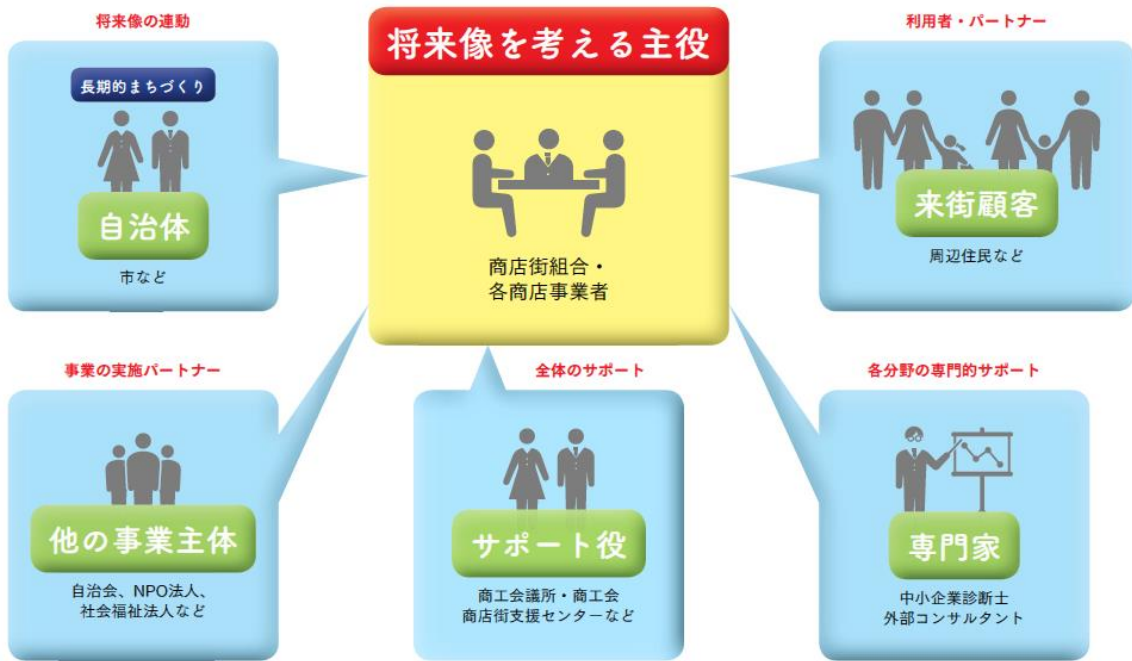


事業(活動)の**棚卸**をする必要があります！

P D C A サイクル表を用いてすべきことは、つまり・・・

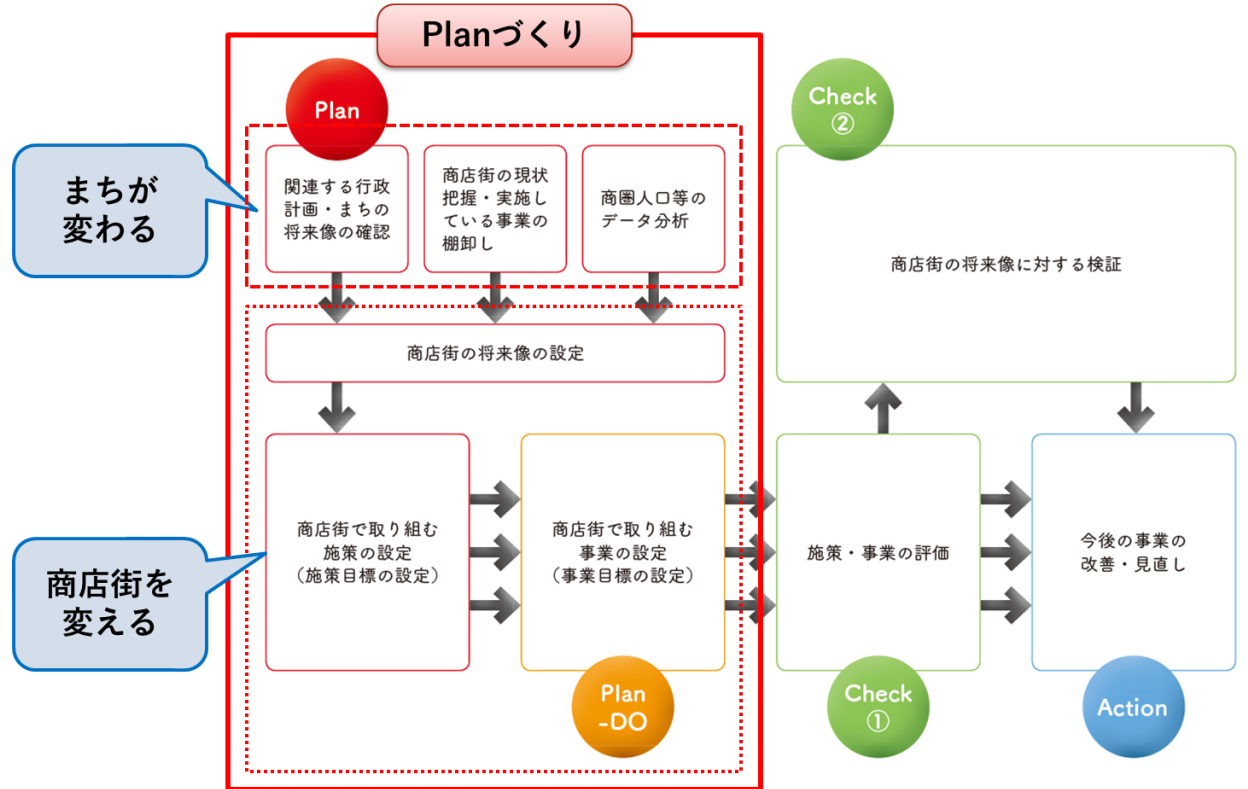
将来を見据えて 商店街活動の在り方 を見直すこと

「継続して取り組むべきこと」
「新たに取り組むべきこと」
「取り組みを中止すべきこと」
の棚卸し



▲商店街を取り巻く様々な関係者

商店街/自己とまち/関係者評価の視点からの目標設定イメージ▼



鹿児島県では、PDCAサイクル表を活用したい
商店街をアドバイザー派遣を通じて支援しています！

平成30年度：
商店街活性化・人材育成支援事業

令和元年度：
地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業

令和2年度：
チャレンジする商店街活性化支援事業



◀▲アドバイザー派遣
では、商店街を中心に
行政、支援団体に加え、
地域コミュニティや大
学生、高校生等も参加
し、「まち」や「商店
街」のあり方について
意見交換を行いました。

事業事例紹介 I

枕崎市通り会連合会

地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業

枕崎市の11の商店街は衰退したにもかかわらず、各々が小規模で活動し殆ど交流はない状態。

しかし、現状を打開すべく平成22年11月2日に枕崎市通り会連合会を結成。

以後、商店街グルメ王座決定戦show-1グランプリで「枕崎かつお船人めし」が2年連続でグランプリを獲得するなど、「船人めし」知名度向上に貢献。

一方で、イベント等を企画し交流人口を増やしても、一時的かつ限定的であったため、新たな活性化に取り組む必要性を感じ、「地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業」に応募。

構成メンバー：11通り会

主な事業：枕崎船人めしの普及促進

show-1グランプリ出店 等



- 駅通り
- かつお通り
- 学校通り
- 市役所通り
- 銀座通り
- 折口通り
- 町頭通り
- 中央通り
- 立神通り
- 旭通り
- 東中央通り

事業事例紹介 I

枕崎市通り会連合会

地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業

アドバイザー派遣では、講演会や意見交換を通じて「まち」や「商店街」のみならず、「社会」や「将来」など様々な切り口について通り会メンバーのみならず、行政、支援団体のメンバーから忌憚のない意見が出ました。また、講師は現状に理解を示しながら、これまでの経験や知見を基に、適切なアドバイスを行いました。

◆第2回アドバイザー派遣（10月9日）

○派遣アドバイザー：北井氏、河井氏

○参加者：10名（通り会・行政・支援団体等）

○社会変化に関する講演と事業実施の有意性について



人口減少及び高齢化の進展により、まちの前提が変化します。そして、Society5.0に向けた社会変化が訪れます。

連合会ですべきことと、各通り会ですべきことを一度見直すことも一案。将来的にどこかの通りに機能等を集約させることについても検討してみたいのではないかと。



講演及び意見交換会を踏まえ、アンケートの実施及びPDCAサイクル表の作成に取り組むことを確認

◆第3回アドバイザー派遣事業（11月12日）

○派遣アドバイザー：河井氏

○参加者：4名（通り会・行政・支援団体等）

○PDCAサイクル表作成に向けた協議その1



枕崎のイメージは何と言っても「鰹」。これをキーワードに事業を検討すべき。枕崎ならではの個性を印象づけるべき

加えて、県下の市町村別総人口に占める外国人の割合は、枕崎市がトップであることから外国人が真に住みやすい街を目指すべきである。



枕崎市通り会連合会

議論が深まるにつれ、PDCAサイクル表の骨子が固まり始める。配布・回収するアンケートの内容も決定。

◆第4回アドバイザー派遣（12月26日）

○派遣アドバイザー：河井氏、迫氏

○参加者：7名（通り会・行政・支援団体等）

○PDCAサイクル表作成に向けた協議その2



枕崎市通り会連合会

アンケート結果から、船人めし普及推進についての住民認知があることが分かった。継続して取り組むとともに、水産高校への海外留学生受け入れ等にも尽力したい。

完成まであと少しです。一度に全てを手掛けるのではなく、着手できるものから優先的に取り組んでみては。複数年に渡って手掛けながら、適宜見直しを行うことがPDCAサイクル表の有効な活用方法です。

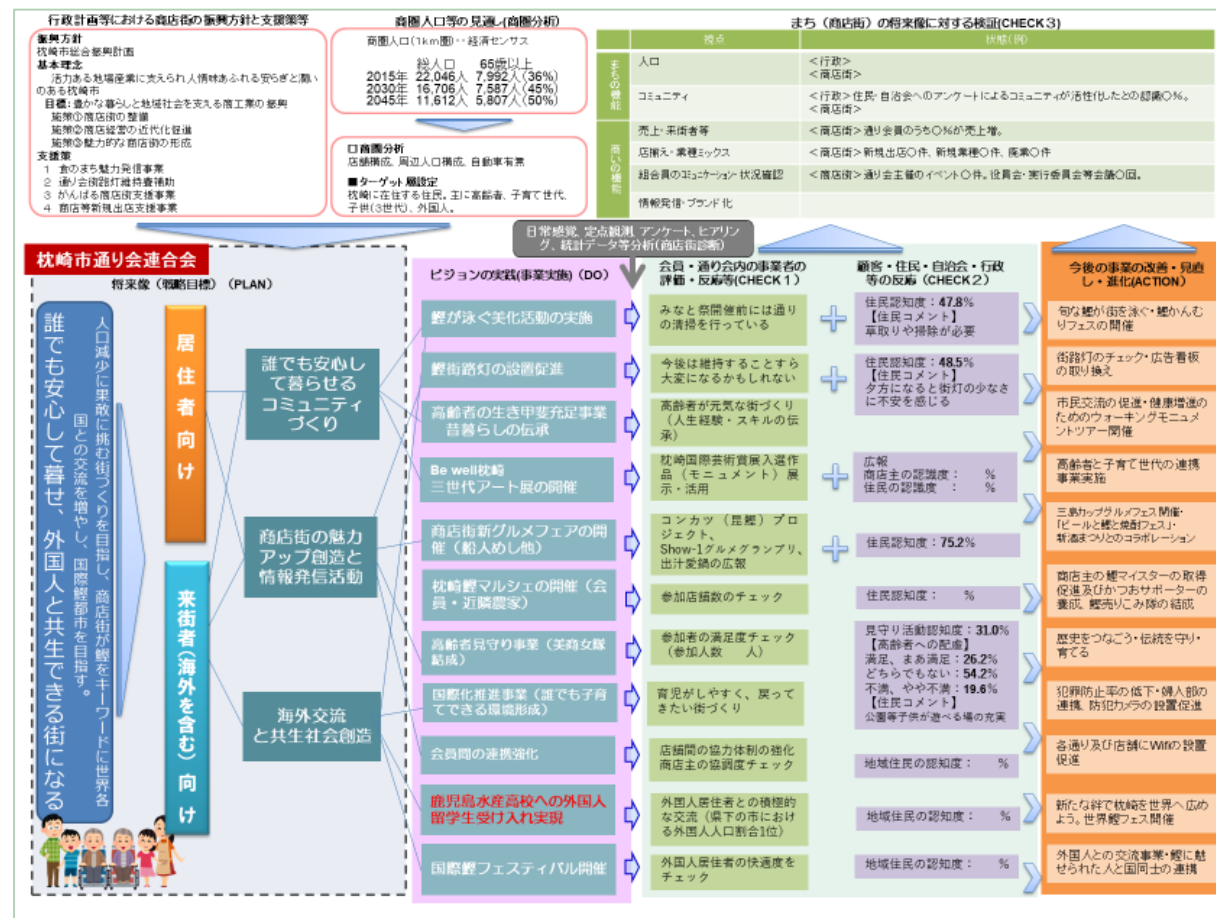
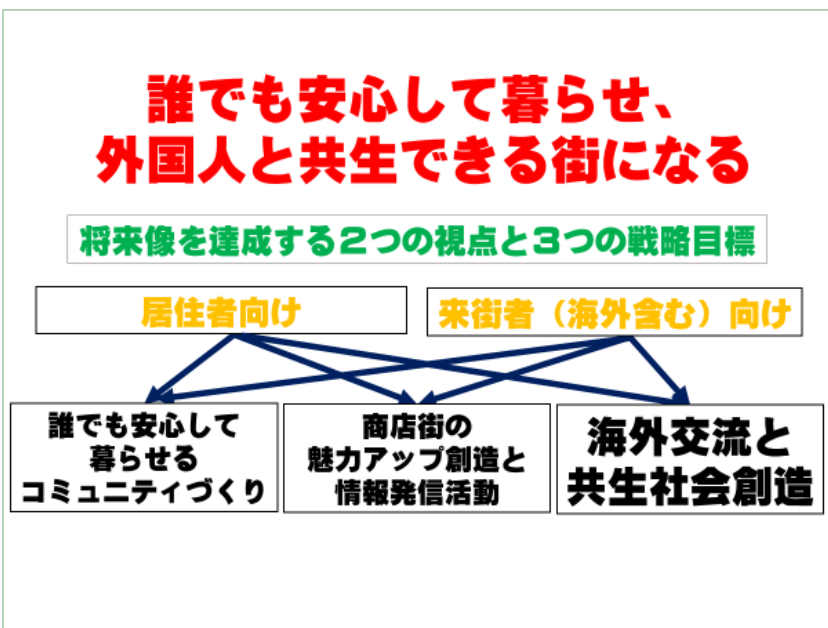


事業事例紹介 I

枕崎市通り会連合会

地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業

計5回のアドバイザー派遣を通じて、PDC Aサイクル表が完成し、今後連合会が活動を行う上での大きな指針が整備された。これからは、優先順位をつけた上で、「短期」・「中長期」で取り組むものを選別し、行政計画と同期を図りながら事業を推進していくこととなる。



事業事例紹介 II

鴨池商店街振興会 こくぶ通り会連合会

地域力を生かした個性ある商店街づくり支援事業

「商店街の将来像を考えよう」をテーマに、株式会社三菱総合研究所 主席研究員の北井渉氏を招聘し、講演会及び意見交換会を実施しました。

商店街メンバーを中心に、行政や支援団体、地域のコミュニティ協議会メンバー、大学生、市議会議員など多様な顔ぶれが揃い、「1kmメッシュ単位の人口及び高齢者割合」や「Society5.0」を通じて社会変遷について理解を深めました。

これから訪れる未来を思いながら、「まち」や「商店街」がどうあるべきかについて、参加者は忌憚のない意見を述べました。



▲講演会及び意見交換会の様子。
30名近い参加者が集まりました。
(鴨池商店街振興会)

▼Society5.0紹介の動画（政府広報）に見入る参加者
(こくぶ通り会連合会)



成果報告会の様子

場 所：かごしま県民交流センター
日 時：令和2年2月21日
参 加 者：県内各地の商店街関係者、行政、
支援団体 等
内 容：基調講演、パネルディスカッション、
「まち」と「商店街」に関する分科会

アドバイザーとして、本年度もご尽力いただいた株式会社三菱総合研究所 主席研究員の北井渉氏を講師に招き、「まちが変わる、商店街を変える～Society5.0の到来を見据えて～」をテーマに基調講演をしていただきました。また、事業に取り組んだ商店街の方々や支援いただいた行政の方をパネラーに、パネルディスカッションを開催しました。

パネルディスカッションの後は、参加者全員による分科会を開催しました。「私のまちの商店街が抱える課題と個性の生かし方」をテーマに、商店街の方々や各自治体の職員を班分けし、立場や地域を超えて自由な意見交換を行うことができました。

▶ Society5.0の到来によって、社会や「まち」がどのように変化していくか講師が分かりやすく説明した。

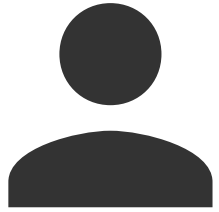


◀ パネルディスカッションでは、これまでの取り組みの成果や今後の抱負についてパネリストから発表された。

▲ 初の試みとなる分科会では、立場や地域の枠を超えて、参加者から自由闊達な意見が飛び交った。



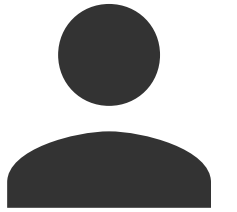
事業に取り組んだ商店街の皆さんの声



酒匂副会長
(枕崎市通り会連合会)

P D C A 表を作成したことで、支援をお願いしたい関係者の方々へ説明がしやすくなった。今後の取り組みに向けて「見える化」を図れたことが良かった。

商店街の若手や女性メンバーの協力を得ることが出来るようになった。また、地元の高校や地域コミュニティの方々との交流を通じて、商店街に活気が戻りつつある。



森田理事長
(かもだ通り商店街(協))

皆様のご応募をお待ちしております！ 